

(様式4)
令和7年3月7日

令和6年度 第3回 大阪市立瓜破北小学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立瓜破北小学校

校園長名 永田晶

日 時	令和7年3月6日 (木) 15時30分～16時30分	
場 所	大阪市立瓜破北小学校 校長室	
出席者	委員など	会長 副会長 顧問 委員3名
	校園	校長 教頭 教務主任
	区役所	
議題	<p>(1) 令和6年度「運営に関する計画」最終評価について (2) 学校評価アンケート【最終】(保護者・児童)の結果について (3) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について (4) その他</p>	
協議要旨	協議の結果	
	(1)	○令和6年度「運営に関する計画」最終評価について ・児童の安定した学校生活のために、学校が取り組んでいる教育活動にご理解とご了承をいただいた。
	(2)	○学校評価アンケート【最終】(保護者・児童)の結果について ・概ねどの項目も肯定的回答が多い点に、児童にとって学校が楽しく安心安全であることにご理解をいただいた。
	(3)	○全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について ・結果の数値は、運動や体を動かすこと等に喜びや楽しさを感じている児童が多いことが評価された。
意見の概要		
(1)	○いじめについての本校の実態と児童の意識について。多くの児童は「いじめは絶対に許されない」という意識は持っているが、最も肯定的な回答の割合は十分とは言えない面があるので、今後も指導や取り組みを継続していく。 ○遅刻して登校する児童や遅れていても急ぐ様子も見られない児童が多く、また増えている。中学校でも同様の実態があり、家庭への啓発が必要である。 ○本校の児童は、家庭でスマホやゲームをしている時間が長いという実態がこの数年続いている。そのため、夜に寝るのが遅くなり、朝食を食べていない児童が多く、また増えている実態があり、学力や体力の向上に良くない影響を及ぼしている。また、家庭での朝食の用意が十分でないことや児童の睡眠時間も市平均より少ない実態があるので、家庭での生活習慣の確立や生活指導など、家庭への啓発や連携を今後もさらに強化して続けていく必要がある。 ○学校では、体力・運動能力の向上だけでなく、夢授業等の外部の専門家を招聘して、運動や体を動かすことに喜びや	

		楽しさ、興味を感じる取り組みや活動を工夫している。
協議資料	(1) 令和6年度「運営に関する計画」最終評価 (2) 学校評価アンケート【最終】(保護者・児童)の結果 (3) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果	
備考	傍聴者[0]名	